

記者発表：徳島県政記者クラブ

平成27年9月18日
四国地方整備局
小松島港湾・空港整備事務所

津波を自動的にシャットアウト ～撫養港海岸にフラップゲートを設置しました～ (起動確認状況を報道関係者向けに公開します)

小松島港湾・空港整備事務所では、撫養港海岸(鳴門市)において、南海トラフを震源域とする地震による津波から、学校、病院などの公共施設や人口が集中している中心エリアを守ることを目的として、老朽化した堤防の嵩上げ及び液状化対策等を実施するほか、東北地方太平洋沖地震から得た教訓から、
陸^{りくこう}閘の電動化や自動化を実施しています。

今般、津波の発生時に自動的に起立を開始する、大型浮体式防潮堤【フラップゲート】を撫養港海岸に全4基設置する予定ですが、このうち2基について、このたび設置したところであり、同海岸では初めての設置となることから、工事完成検査の一環として、現地において起動確認を実施することとしました。

なお、海岸を守る大型(高さ約2m、幅約8m)のフラップゲートについて、実際に水を入れて本格的な起動確認を実施するのは、今回が初めての例となります。

フラップゲートの起動確認は、下記のとおり実施いたします。

記

1. 名称 撫養港海岸フラップゲート 起動確認見学会
2. 日時 平成27年10月3日(土) 14:00～14:30
3. 場所 徳島県鳴門市撫養町大桑島字^{すべりいわはま}湊岩浜(大塚倉庫付近)
4. 参加予定者 地元関係者、学識経験者 他
5. 取材申込手続き 起動確認状況を報道関係者向けに公開します。
取材を希望される方は、平成27年10月1日(木)17時までに、別紙申込書を事前に送付ください。

[問い合わせ先] ◎ 主な問い合わせ先
国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所
TEL: 0885-32-3357
FAX: 0885-35-0010

副所長 小松 浩二
◎沿岸防災対策官 大野 誠彦

小松島港湾・空港整備事務所 宛

FAX:0885-35-0010

撫養港海岸フラップゲート 起動確認見学会

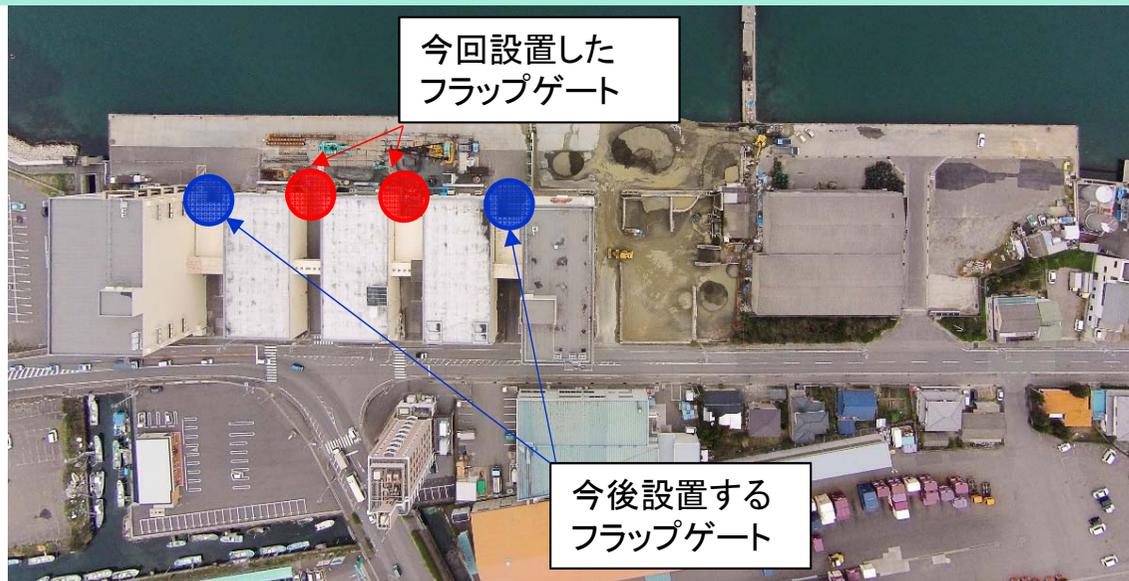
取材申込書

貴社名		
連絡先	TEL:	FAX:
代表者		
	所属	氏名

撫養港海岸事業の陸閘について

○東日本大震災において、陸閘の閉鎖操作に向かった多くの方が犠牲となったことを教訓にし、閉鎖作業に多くの労力と時間が掛かる大型の陸閘については操作員の安全を最優先とし、電動化や自動化を実施しています。

大型浮体式防潮堤【フラップゲート】の概要

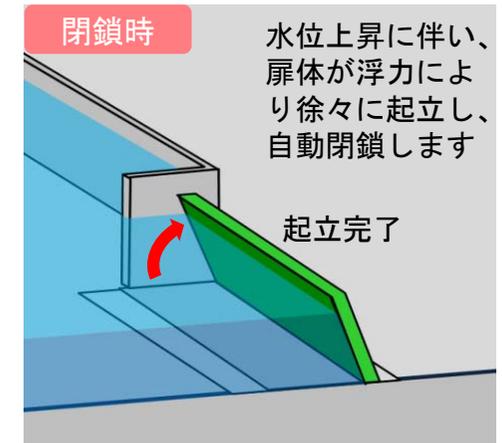
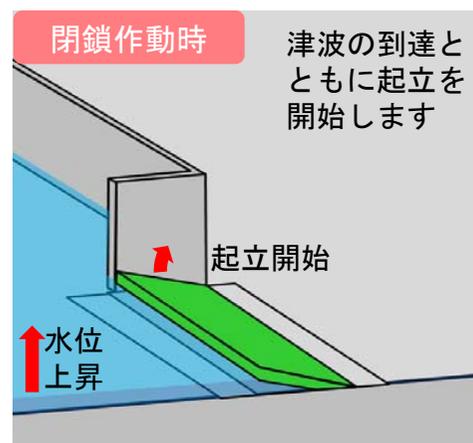
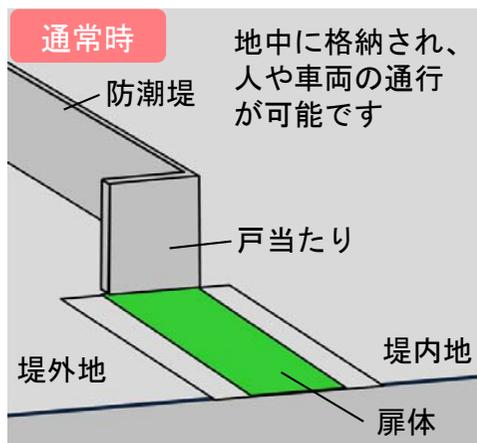


※フラップゲートの信頼性確認

有識者により構成された検討会を開催し、水理模型実験を実施しつつ、浮上特性等に関する技術的課題の抽出・検証を実施し、基本的な構造にプラスして、より確実に作動させるための細かな改良点を追加して採用しました。



フラップゲートのイメージ



撫養港海岸フラップゲート 起動確認見学会 会場案内図



撫養港海岸フラップゲート 現地状況写真

